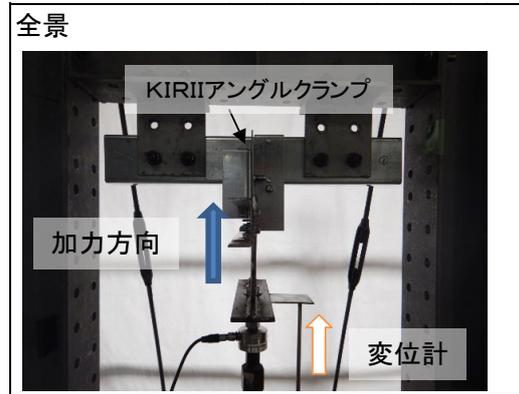
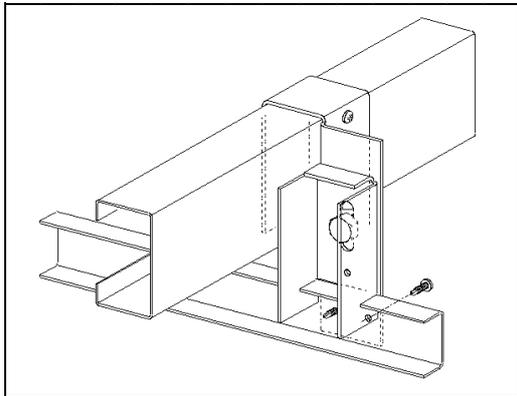


## 試験成績書



試験部材 : KIRIIアングルクランプ(C75用)

試験項目 : 鉛直方向 引張

株式会社 桐井製作所

開発部 技術研究グループ

〒100-6605

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキョウサウスタワー5階

作成日 : 2023/7/10

Tel:03-4345-6005

Fax:03-6895-0220

検印	作成
(稲毛)	(梅村)

◇ 試験概要

品名 : KIRIIアングルクランプ (C75用)  
 試験項目 : 鉛直方向引張  
 試験機 : 加力機: 理研精機(株)製 手動油圧ジャッキ+シリンダー (MD05-200)  
 荷重計・変位計: (株)東京測器研究所製 (TCLA-20KNB・SDP-200D)

試験速度 : -

試験体寸法 : -

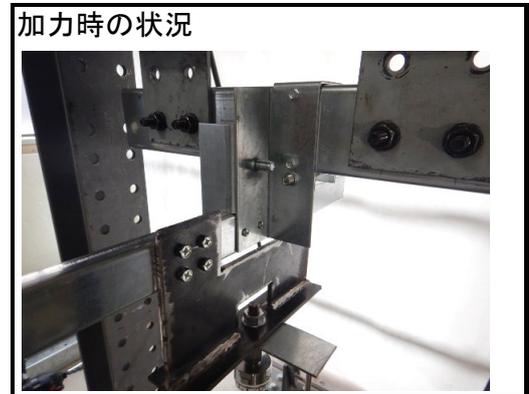
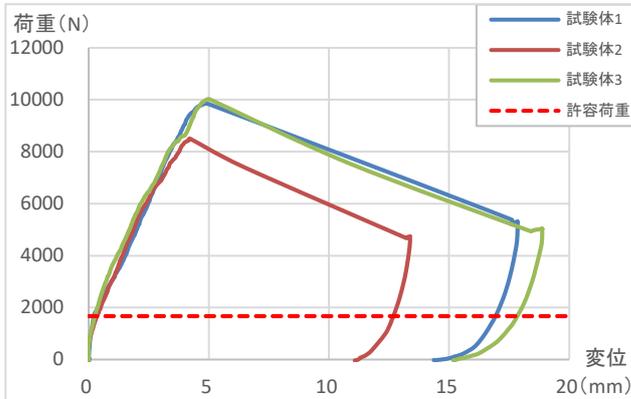
使用部材 : 支持構造部 : C-75×45×15×1.6  
 直固定金具 : KIRIIアングルクランプ (C75用)  
 野縁受け : C-40×20×1.6

試験方法 : 支持構造部を想定したC-75×45×15×1.6にKIRIIアングルクランプにより野縁受け (C-40×20×1.6)を設置する。野縁受けに取り付けた加力治具に油圧シリンダーを接続し、鉛直引張方向に加力した。

評価方法 : 試験体1、2、3の最大荷重のうち、最小値に安全率(2/3)<sup>3</sup>を乗じた値を損傷荷重とし、損傷荷重に(2/3)を乗じた値を許容荷重とする。

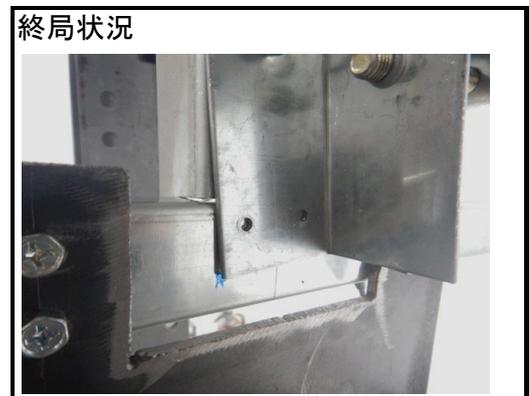


◇ 荷重-変位曲線



◇ 試験結果

	最大荷重 N	最大荷重時 変位 mm	終局状況
試験体1	9842.7	4.81	KIRIIアングルクランプとC-40×20×1.6を接合しているピスの破断およびC-40×20×1.6フランジ部、KIRIIアングルクランプ切り込み部の変形
試験体2	8501.5	4.22	
試験体3	10025.2	5.02	
平均値	9456.4	4.68	
最大値	10025.2	5.02	
最小値	8501.5	4.22	

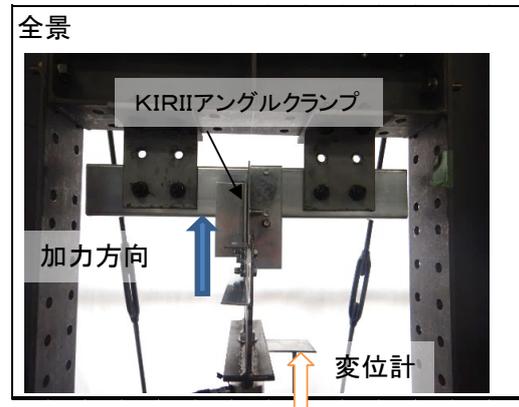
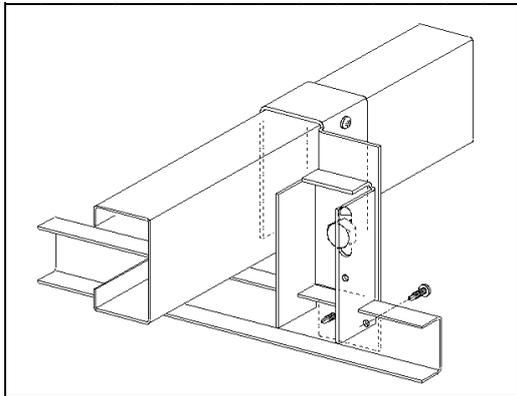


$$\begin{aligned} \text{損傷荷重} &: \text{最大荷重(最小値)} \times (2/3)^3 = 8501.5 \times 8 \div 27 = 2518 \text{ N} \\ \text{許容荷重} &: \text{最大荷重(最小値)} \times (2/3)^3 \times (2/3) = 8501.5 \times 16 \div 81 = 1679 \text{ N} \end{aligned}$$

**∴ 許容荷重 = 1670 N**

試験日 : 2023/6/12  
 試験者 : 大塚 久遠

## 試験成績書



試験部材 : KIRIIアングルクランプ(C75用)

試験項目 : 鉛直方向 圧縮

株式会社 桐井製作所

開発部 技術研究グループ

〒100-6605

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキョウサウスタワー5階

作成日 : 2023/7/10

Tel:03-4345-6005

Fax:03-6895-0220

検印	作成
(稲毛)	(梅村)

◇ 試験概要

品名 : KIRIIアングルクランプ (C75用)  
 試験項目 : 鉛直方向圧縮  
 試験機 : 加力機: 理研精機(株)製 手動油圧ジャッキ+シリンダー (MD05-200)  
 荷重計・変位計: (株)東京測器研究所製 (TCLA-20KNB・SDP-200D)

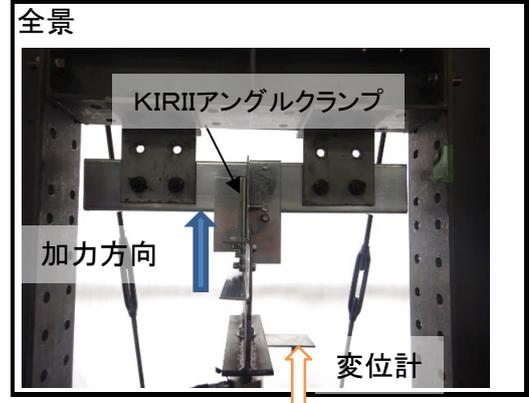
試験速度 : -

試験体寸法 : -

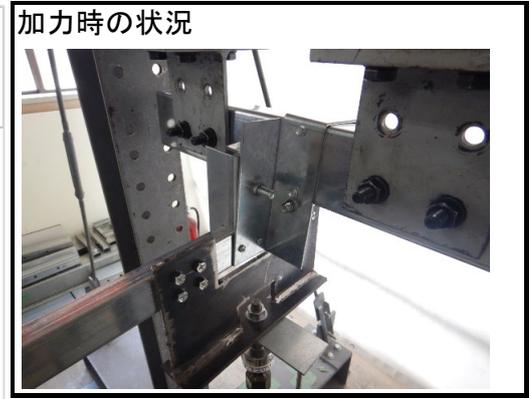
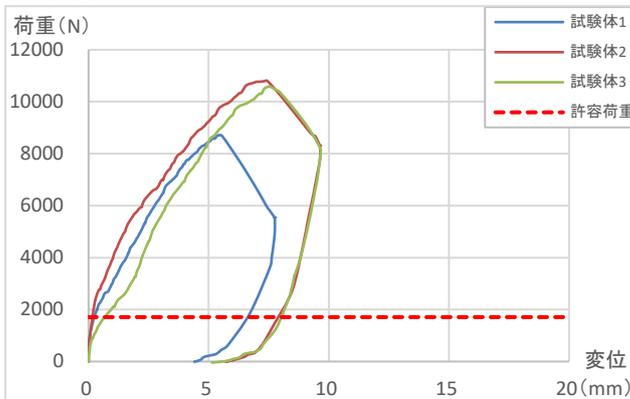
使用部材 : 支持構造部 : C-75 × 45 × 15 × 1.6  
 直固定金具 : KIRIIアングルクランプ (C75用)  
 野縁受け : C-40 × 20 × 1.6

試験方法 : 支持構造部を想定したC-75 × 45 × 15 × 1.6にKIRIIアングルクランプにより野縁受け (C-40 × 20 × 1.6)を設置する。野縁受けに取り付けた加力治具に油圧シリンダーを接続し、鉛直圧縮方向に加力した。

評価方法 : 試験体1、2、3の最大荷重のうち、最小値に安全率(2/3)<sup>3</sup>を乗じた値を損傷荷重とし、損傷荷重に(2/3)を乗じた値を許容荷重とする。



◇ 荷重-変位曲線



◇ 試験結果

	最大荷重	最大荷重時変位	終局状況
	N	mm	
試験体1	8695.0	5.37	KIRIIアングルクランプとC-40 × 20 × 1.6を接合しているビスの破断およびC-40 × 20 × 1.6フランジ部の変形
試験体2	10798.6	7.44	
試験体3	10584.1	7.49	
平均値	10025.9	6.77	
最大値	10798.6	7.49	
最小値	8695.0	5.37	



$$\begin{aligned} \text{損傷荷重} & : \text{最大荷重(最小値)} \times (2/3)^3 = 8695.0 \times 8 \div 27 = 2576 \text{ N} \\ \text{許容荷重} & : \text{最大荷重(最小値)} \times (2/3)^3 \times (2/3) = 8695.0 \times 16 \div 81 = 1717 \text{ N} \end{aligned}$$

**∴ 許容荷重 = 1710 N**

試験日 : 2023/6/13  
 試験者 : 大塚 久遠